

# 丸協にゆーす 12月号

- 丸協topics 2022年を振り返って
- 今、知っておきたい物流topics

『次世代物流システムのコンセプト

「フィジカルインターネットとは?』

2022年1月

2022年  
一文字は  
『伝』



2月-3月

新型コロナの影響が拡大。各現場では大変な中、何とか一丸となって協力して乗り越える。

4月

組織変更・昇給などありました。

昇給、燃料、電気代など様々なコストが上がっている。今年度は無駄をなくすこと等、管理職中心に考えて動いてほしい!

上海ロックダウン。



新入社員5名が入社しました。



11月-12月

沖縄で新しい業務を開始しました。



9月-10月

物流ABCの研修を行いました。

7月-8月

九州営業所、博多の新事務所へ

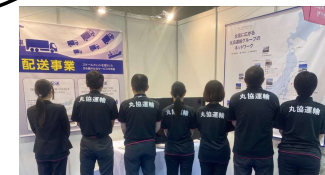
大阪にて新業務TC稼働。  
藤井寺→東大阪センターへ。

5月-6月



丸協運輸は55周年を迎えました。

第3回関西物流展に出展しました。



# 今、知っておきたい物流topics

## 次世代物流システムのコンセプト「フィジカルインターネット」とは

ドライバーの待遇を上げるためには運賃値上げが必要です。一方、荷主が物流コストを上げたくないのも当然の欲求です。「フィジカルインターネット」は、これを両立させる概念として国際的にも研究されています。

簡単に言うと「**モノのインターネット**」です。ネットワーク上を情報の塊をパケット化して運ぶことにより、画期的な情報通信が可能になったように、モノについても規格化された入れ物（パレットや通い箱）を使い、リアルな輸送ネットワークと情報システムをフル活用することで、ロスが少ない物流が可能になるという考えに基づいています。ビールパレットなどはフィジカルインターネットの世界でも活躍する「入れ物」と想定されます。

物流事業者としては膨大に飛び交う情報を効率的に処理し、無駄の少ない物流サービスを提供できる環境整備は強みになるでしょう。経産省、国交省の主導によりとりまとめられた「フィジカルインターネット・ロードマップ」は、効率的な物流構築に向け、何を行うべきか、詳細に紹介されています。荷主が行うべきことも多くあるので、荷主を巻き込んだ現場改善のため、政府発信の情報はどう活用してください。

項目	年度	~2025	2026~2030	2031~2035
	現状	準備期	離陸期	加速期
物流・商流データプラットフォーム (PF)	各種PFの萌芽。複数のPF間の相互接続性・業務連続性の確保が課題。	各種PFビジネスの発達 SIPスマート物流サービス	PF間の自律調整 SC可視化、サービス展開 例) 地域物流 各種PFとの連携	物流・商流を超えた多様なデータの業種横断プラットフォーム
物流拠点自動化・機械化	自動化機器の普及促進と、業務プロセス革新による生産性向上が課題。	物流DX実現に向けた集中投資期間 ロボットフレンドリーな環境構築・各種標準化 中継輸送の普及 (リレー・シェアリング) 物流MaaS (トラックデータ連携・積替拠点自動化等)		ならず、製造拠点の一部もシェア。 完全自動化の実現 2030年度 物流ロボティクス市場規模 1,509.9億円 (2020年度の約8倍) 出典: 矢野経済研究所
輸送機器自動化・機械化	実証段階であり、本格的な導入・サービス化には至っていない。他方、ドライバーの人手不足問題は深刻化	後続車有人隊列走行システム・高速道路での後続車無人隊列走行システムの商業化 出典: 国土交通省「ロードマップ」	サービス展開 高速道路での自動運転トラック実現 出典: 国土交通省「ロードマップ」	サービス展開
		限定地域での無人自動運転移動サービス 出典: 国土交通省「ロードマップ」	サービス展開	
		自動配送ロボットによる配送の実現	サービス展開	
		ドローン物流の社会実装の推進 出典: 国土交通省「ロードマップ2021」	サービス展開	